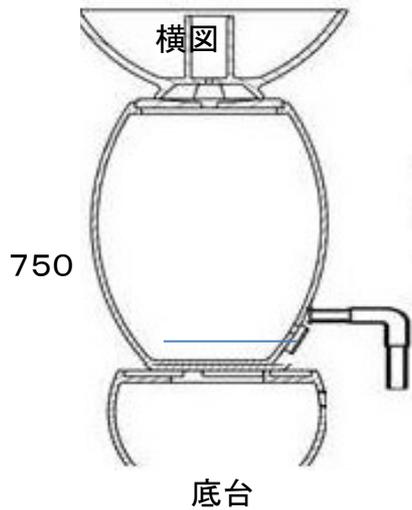
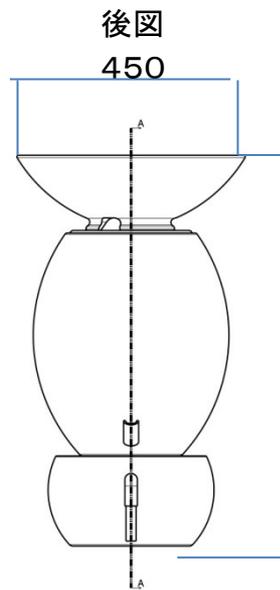


屋外用水琴窟yagai-180

# 鍾乳洞の水滴の琴の音を再現 水琴窟



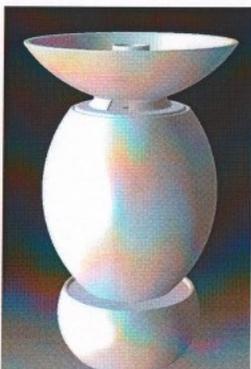
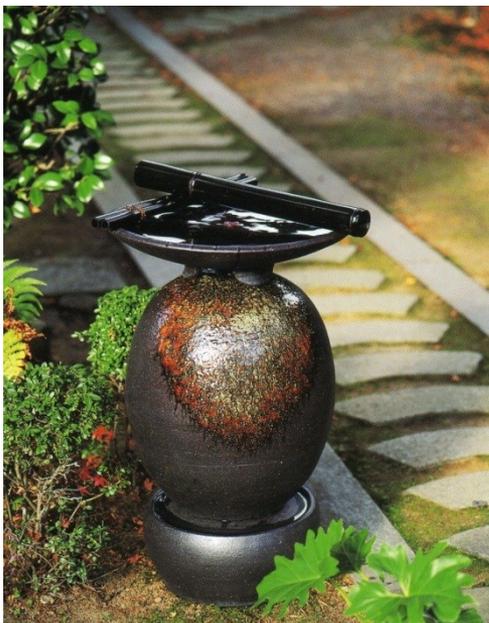
水鉢に水を張り中心の筒から  
水が落ち  
瓶の中から妙なる水音  
\*シュロ縄で落とすも良し  
\*竹勺で楽しむも良し  
水の落とし方で音感が違うのが  
水琴窟

排水口

底台

容易に格安に設置できる。地上設置型水琴窟

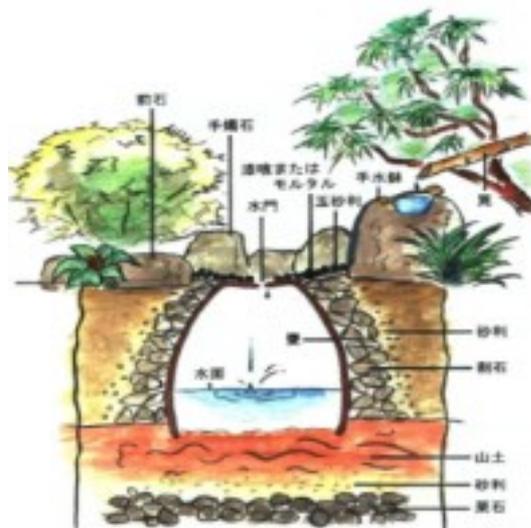
## 屋外設置用水琴窟 水琴窟を現代に（琴音）



\* 1981年地上型水琴窟開発に成功  
屋外設置用水琴窟(琴音S1-001)  
W450×H750

水琴窟は、（日本庭園など和風坪庭にあります）

江戸時代に庭園の設備として用いられるようになり、明治時代に盛んになりました。がその起源詳細は不明です。一般的には蹲踞（つくばい）や縁先手水鉢の鉢前（うみ）の地下に造られたものです。その構造の多くは、底に小さな穴を開けた甕を伏せて埋め、手水の余水が甕の天井から「しずく」となって落ちるように工夫した。一種の発音装置（音具）です。伏せ甕の底に溜まった水面に落ちる水滴の音が甕の空洞で共鳴し、琴の音に似た妙なる音を響かせることから、いつの頃からか水琴窟と呼ばれるようになりました。その何とも言えない心地よい反響音。洞窟の中で聞く清水の垂れの音に例えればよいのか？ ひんやりとした冷気さえ想像され、心の安らぎとともに、涼しさを感じさせてくれます。



伝統的な「つくばい水琴窟」の断面図